

龍馬の讃岐から阿波へかけての軌跡

龍馬の伝承を追うコーナー展の第2弾。動乱の幕末、香川県と徳島県からは、優れた勤王家が何人か輩出され、長州藩士・高杉晋作も讃岐に逃亡時、交流を持ちました。彼らの関連資料を展示するとともに龍馬との接点を探り、ゆかりの地を紹介します。



写真提供＝春野公麻呂氏／坂本龍馬肖像＝高知県立坂本龍馬記念館提供／高杉晋作肖像＝国立国会図書館蔵

◆2020年2月3日(月)～4月17日(金)

午前8時～午後7時

(※最終入館は午後6時半、最終日は午後5時まで。年中無休)

◆高知市立龍馬の生まれたまち記念館／2F常設展コーナー

主催：龍馬の生まれたまち記念館

〒780-0901 高知市上町 2-6-33

電話：088-820-1115 FAX：088-822-1835

観覧料： 300円(※65歳以上150円、高校生以下無料)

企画協力：ロンプ  
(春野公麻呂氏)



日柳燕石像